

「堂谷津の里」(千葉市若葉区)の自然共生サイト認定記念講演会が開催されます

本市が保全を進めている谷津田を含む「堂谷津の里」(若葉区谷当町)が、同地で保全活動を実施するNPO法人バランス21の申請により、令和6年3月に環境大臣から「自然共生サイト」(=生物多様性の保全が図られている区域)として認定を受けました。

このたび、同NPO法人の主催により、これを記念した講演会が開催されますので、お知らせします。

1 講演会の趣旨

堂谷津の里が自然共生サイトとして認定されたことを契機に、里地里山の保全活動に携わる関係者が集い、今後の環境保全活動を展望する。

2 講演会の概要

(1) 日時

令和6年6月15日(土) 10:00~12:00

(2) 会場

東京情報大学メディア・ホール(若葉区御成台4-1)

(3) 現地散策

講演会終了後、現地散策を行います。希望者は13:30に堂谷津の里入口の^{やとう}谷当里山パーク(若葉区谷当町933-1)にお集まりください。

(4) 参加費

無料

(5) 定員

250人

(6) 主催

NPO法人バランス21

(7) 後援

環境省関東地方環境事務所、千葉県、千葉市、日本自然保護協会、東京情報大学、植草学園大学、NPO法人ちば里山センター、千葉興業銀行、京葉銀行

3 講演会への申し込み方法

主催者のホームページ上の申込フォームから6月9日(日)までにお申し込みください。

※取材申し込みについても同様

【URL】<https://balance21.jimdo.com>



4 市ホームページでの公表

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/shizen/shizenkyouseisaito.html>



<参考>

1 自然共生サイトについて

環境省では、令和5年3月に決定された生物多様性国家戦略において、生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること（＝ネイチャーポジティブ）を令和12（2030）年までに実現するため、同年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全することを目標（30 by 30目標）としています。

自然共生サイトは、これを達成するため、環境省が令和5年度から開始した認定制度です。

企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境省が「自然共生サイト」として認定し、国立公園など既存の法令による保護区域との重複を除いた区域は、「OECM（Other Effective area-based Conservation Measures：保護地域以外で生物多様性保全に資する区域）」として国際データベースに登録されます。

令和5年度末現在、全国で184カ所（約8.5万ha）が自然共生サイトとして認定されています。

県内ではこれまでに8カ所が認定を受けており、千葉市内では、植草学園大学にある「植草共生の森（ビオトープ）」に続き2カ所目となります。



30by30 アライアンス ロゴマーク(環境省)

2 堂谷津の里、NPO法人バランス21について

本市では、土地所有者等の協力を得て、市の原風景であり多様な生態系を有する「谷津田」の保全を進めており、今回、自然共生サイトとして認定を受けた「堂谷津の里」はそうした谷津田のうち代表的なもののひとつです。

堂谷津の里の区域の多くは、平成19年以降、本市の谷津田等保全区域として指定を受けており、市および土地所有者等の協力の下、NPO法人バランス21（平成24年設立。令和5年度末会員数53人）により積極的な保全活動や環境教育活動が展開されてきており、現在は都市近郊の里山環境を活かした体験と学びの場となっています。区域内には、ビオトープ、里山林、田んぼなど二次的自然環境に特徴的な多様な生態系が広がり、希少種を含む植物、チョウ、トンボ、両生類、爬虫類、ほ乳類、鳥類等多くの生きものの生育・生息が確認されています。